

# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成29年06月01日	作成者名	清水 彩子	評価者名	鈴木 研二
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	教育委員会事務局・教育政策室
分野	03 学校教育	関係課	教育委員会事務局・教育政策室
施策	07 確かな学力の育成		
施策の目的	一人ひとりに応じたきめ細やかな指導により、市内小・中学校の児童生徒が、確かな学力を身につけるようにしていきます。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	学校教育指導事業
取り組み②	中学校教育振興費
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
授業がわかる調査 (小学生)	4年以上全児童の授業への意識調査 (わかる+概ねわかる児童/全児童数)	%	90	88	89	89			
授業がわかる調査 (中学生)	全生徒による授業への意識調査 (わかる+概ねわかる生徒/全生徒数)	%	80	76	77	77			
授業に対して取り組む姿勢 に係る調査(小学生)	4年以上全児童の授業への意識調査 (積極的+概ね積極的な児童/全児童数)	%	90	87	89	89			
授業に対して取り組む姿勢 に係る調査(中学生)	全生徒による授業への意識調査 (積極的+概ね積極的な生徒/全生徒数)	%	80	79	82	87			
その他施策の取組事項に 係る成果	教職員専門研修の一貫である教育センター研究員の参加者が年々増加し、教職員研修の質が向上しつつある。学校応援団推進事業についても各小・中学校において充実、定着している。								

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>1) 「授業がわかる」調査では、小・中学校ともに、前年同様程度の数値となり、さらに一層の充実を図り、目標値に近づけていく必要がある。2) 小・中とも学年が上がるごとに各指標が低下する傾向にあり、各学校における授業の工夫改善が必要である。3) 国・県の調査から、個に応じた指導と基礎学力定着及び授業規律徹底を図る必要がある。4) 学習指導要領実施への対応については、質的な側面において、その主旨を一層反映させる必要がある。</p>	対応策	<p>1) 学校訪問や校内研修への指導主事の派遣及び教職員の研修会の充実による教員の資質向上。特に若手教員や臨時採用教員への指導の充実を図る。2) アクティブ・ラーニング推進委員会及び英語教育研究推進委員会等の設置による小中一貫教育を踏まえた全市的な学力向上研究の実施。3, 4) 次期学習指導要領の実施に伴う教育体制の整備。非常勤職員（ALT、アクティブティーチャー・ジャンプアップティーチャー等）の効果的活用。共通教材などICT環境の整備と効果的な活用の研究。</p>
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	平成32年度までに、各種指標が、小学校では90%、中学校では80%を達成できるよう各事業を進めている。小・中学校ともに、前年度同様程度の数値となっていることから、より一層児童生徒の興味関心を高め、わかるまで丁寧に取り組んでいく授業づくりが必要であると考え。非常勤職員の活用、ICT機器等、様々な取組の推進を図る。
<b>B</b>		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	平成32年度までに、各種指標が小学校では90%、中学校では80%を達成できるよう継続的計画的に学校を支援していく。また、時代を先取りする政策を展開していくために、人員増が必要である。
<b>↑</b>		

## (評価者コメント)

各種指標については、教育政策室が単独で平成16年度から取り組んでいるものであるが、その当時と比べても順調に推移してきている。今後とも各種指標の達成に向け、一つ一つの事業内容の質的向上を目指し推進していくとともに、時代を先取りした施策も展開していきたい。
--



# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成29年06月01日	作成者名	清水 彩子	評価者名	鈴木 研二
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費  うち 一般財源				
		事業コード		H29決算額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト						
		事業内容		H30予算額			施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性										
				H31計画額																
03 研究・研修事業 (教育政策室)																				
	01	研究・研修事業		7,983	1		A	B	A	A	1		B		0					
		01	10	01											05	03	01	4,411	4,543	0
		今日の課題研修会や指導法に関する研修会、教育相談研修		4,543											0					
				0																
04 A L T 事業 (教育政策室)																				
	01	A L T 事業		67,564	1		A	B	A	B	1		B		0					
		01	10	01											05	04	01	67,851	69,445	0
		英語指導のスキルをもつA L Tを小学校に配置し、A L T		69,365											2,069					
04 小学校教育振興費 (教育政策室)																				
	01	小学校教育振興費		23,258	1		A	B	A	A	1		B		0					
		01	10	02											01	04	01	27,242	21,416	0
		各小学校における学習環境の整備及び学習指導体制の充実		21,416											20,691					
04 中学校教育振興費 (教育政策室)																				
	01	中学校教育振興費		21,978	1	○	A	B	A	C	1	○	B		0					
		01	10	03											01	04	01	25,757	41,156	0
		各中学校における学習環境の整備及び学習指導体制の充実		41,156											20,691					
計 (千円)				事業費	295,926	336,380	394,066	0												
				うち一般財源	285,164	328,439	386,105	0												

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 平成31年度で終了    8 平成30年度で終了    9 平成29年度で終了